

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた題材構想 < 図画工作 >

特別研修員 図画工作 茂木 明美 (小学校教諭)

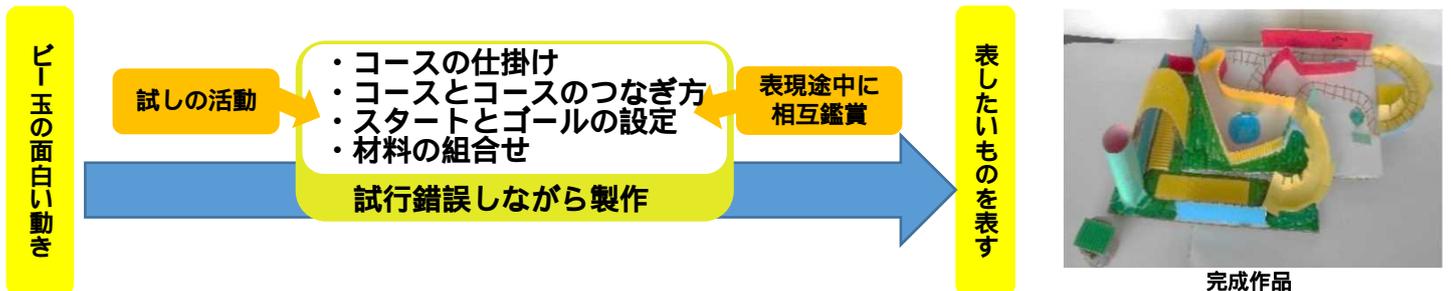
題材名 『コロコロガーレ ~ ビー玉大冒険 ~ 』 (第4学年) 全10時間計画

題材のねらい

ビー玉を転がして楽しく遊ぶ作品の製作を通して、手や体全体を十分に働かせ、ビー玉の面白い動きを基に自分のイメージをもちながら表したいことに合わせて表し方を工夫して表せるようにする。

題材構想

本題材では児童がビー玉の面白い動きを捉え、試行錯誤しながら表す過程で、表したいことを明確にしていけるよう構想しました。具体的には、試しの活動や相互鑑賞などを取り入れ、活動内容を工夫しました。



過程 主な学習活動

1. 表現の見通しをもつ。
 焦点を絞り作成した多様な参考作品で遊びながらビー玉の面白い動きについてグループで話し合う。遊ぶなかで見つけたビー玉の面白い動きを1枚のワークシートに言葉や図でかいた後、全体で共有して、題材の課題をつかむ。

題材の課題 **ビー玉を転がして楽しく遊ぶ、コロコロガーレをつくる。**

2. 表したいことを発想・構想する。
 前時に与えられたビー玉の面白い動きを振り返り、用意された材料でどうしたらその動きができそうかをグループで試しながら考える。グループで出されたアイデアをカードに絵や言葉で表すことを通してアイデアを共有し、広げる。

3. 構想を基に製作する。
 材料(紙や段ボール、プラスチック、木片等)の使い方や、用具(はさみやカッターナイフ、のり等)の使い方を知る。材料の組み合わせや用具の使い方を試しながら、自分の表したいコースを表す。製作途中に相互鑑賞をすることを通して、互いのよさを伝え合い、工夫しているところや面白い仕掛けに気づき、自分の作品に生かすことができるようになる。

4. 作品を鑑賞し表現活動を振り返る。
 完成作品を交換しながら遊び合い、よいところを伝え合う。製作した感想をワークシートに記入し、ビー玉大冒険の製作を通して分かったことやできたことを共有する。

自分の感覚や行為を通して動きを見いだす活動の設定



自分の感覚や行為を通してビー玉の面白い動きを見いだせるように6種類の異なるコースで遊ぶ活動を設定する。
見つけた面白い動きは言語化し、全体で共有させる。

捉えた面白い動きを生み出す試しの活動の設定

教師が意図的に用意した材料を基に、**グループで試しの活動**をすることにより、他の児童や材料と対話し関わり合いながら、**面白い動きを作る方法を見付ける**ことができるようにする。



仕掛けを試す場面



言葉と図で説明するアイデアカード

表したいことを生み出せるよう、**言葉や図などで表す言語活動を設定**する。

試行錯誤しながら表し方を見付ける試す場の設定

試行錯誤しながらよりよい表し方を見付けられるよう、**材料や表現方法を試す場**を設定する。視野を広げたり、よりよい表し方に気付いたりできるように、**相互鑑賞の場を設定**する。

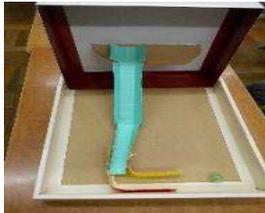


製作の様子

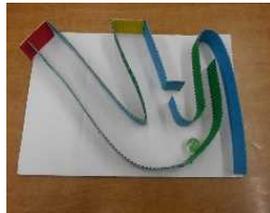
指導例：『コロコロガーレ ~ ビー玉大冒険 ~』（第4学年 第1時）

1 ビー玉の動きの面白さに気付く。
 参考作品の一つを見て、ビー玉がコースをどのように動かか考える。
 T: このビー玉、これからどんな動きをしようと思う？
 S: 転がって、落ちる！
 S: 途中でビー玉がはねたよ！面白い！
 T: はねる。落ちる。転がる…。他にどんな動きがあるのかな。
 参考作品で遊びながら、ビー玉の動きの面白さをたくさん見付けよう。

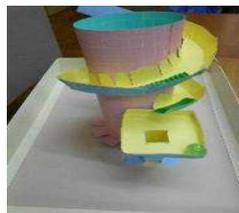
2 複数用意した参考作品で遊びながらビー玉の面白い動きを見付け、グループ内で話し合う。
 4、5人のグループになり、グループごとに異なる参考作品を用意し、5分おきに作品をローテーションする。
 遊ぶ中で見付けたビー玉の面白い動きをグループで1枚のワークシートに言葉や図でかく。



【抜け穴、二段コース】



【曲線、分かれ道のあるコース】



【カーブと塔のコース】



【直線と曲線のあるコース】



【ゲーム性のあるコース】



【テーマ性のあるコース】

3 個々が気付いたビー玉の動きの面白さを全体で共有する。
 見付けたビー玉の動きの面白さを全体で発表し合いコロコロガーレづくりのイメージを膨らませる。
 ビー玉を転がして楽しく遊ぶコロコロガーレづくりをすることを決める。



転がる、はねる、落ちる、回る、行ったり来たりする、くぐる…

面白い動きを自分でもつくってみたい！

題材の課題 ビー玉を転がして楽しく遊ぶ、コロコロガーレをつくろう。

4 本時のまとめ・振り返りをする。
 板書を全員で振り返り、たくさんの面白さを見付けることができたことを共有する。
 S: ビー玉の動きがいろいろあって楽しいな。
 S: 自分だったら落とし穴をたくさんつくりたいな。

どうやってつくるのかな。

指導のポイント

ビー玉の動きに着目させ、面白い動きを生み出すことへの興味をもたせる

コースの仕掛けや装飾性に注目するのではなく、ビー玉の動きそのものの面白さを味わい、興味をもたせるために、ビー玉の動きを児童に予想させる。

焦点を絞って作成した多様な参考作品で遊ばせ、面白い動きに気付けるようにする

感覚や行為を通して様々なビー玉の動きを見いだすことができるように、しかけの異なるコースで遊ぶ活動を設定する。
 参考作品には、コースの続きを児童がイメージして自分ならこうするという発想をふくらませることが出来る余地を残しておく。

遊びの体験を通して感じたことを基に、題材で追求する課題をつかませる

個人の活動ではなくグループで話し合わせた後、全体で発表することで、多様な動きが生まれることに気付き、表したいことを見付けることができるようにする。このことが、ビー玉の面白い動きを生み出すコースづくりをするという題材の課題につながっていく。

振り返りの共有から、次時の活動に意識をつなげる

本時では、ビー玉の面白い動きを見付ける活動をしたことを意識付け、今後は見付けた動きを基に、コースの発想を広げていくという活動のイメージをもたせる。

指導例:『コロコロガーレ ~ビー玉大冒険~』(第4学年 第2時)

1 本時のめあてをつかむ。
本時では、どうしたら面白いビー玉の動きができそうか、材料を基に
試しながらグループでアイデアを出し合うことを確認する。

本時のめあて どうしたら面白いビー玉の動きができそうかを考え、
アイデアを広げよう

2 どうしたら面白いビー玉の動きができそうか、材料の組合せ方をグループ
で試しながら考える。

<グループ活動の仕方>

- ・1グループの人数は4、5人とする。
- ・準備 コースの基本となる材料
グループでビー玉1個
アイデアカード



(動きに合わせた材料の組合せ方を簡単な言葉と図で表すカード)

アイデアが生まれる

壁を高くすると、ビー玉が落ちずに勢いよく、くるんって回るよ!

折り目を生かしたら、トンネルができたよ!

それ、いいね。

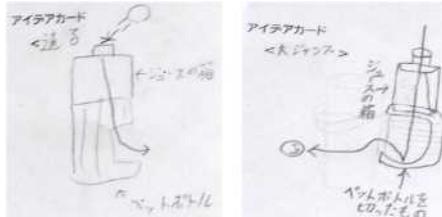
アイデアがつながる

段ボールを差し込んで、2階建てにしよう。滑り落ちる動きができ

3 グループで出されたアイデアをアイデアカードにかく。
言葉と図で説明するアイデアカードのかき方の例を示し、簡単な言葉と図
で表すことを確認する。



【アイデアカードをかき様子】



【アイデアカードの例】

4 各グループで出されたアイデアを共有する。
2種類の図を提示し、自分が表したい作品全体のイメージが段差を生かす
ものと平面を転がすものどちらに近いかを考える。
他のグループのアイデアカードを参考にし、自分が取り入れたい材料の組
合せ方を三つ見付ける。

4 本時のまとめ・振り返りをする。
振り返り用のワークシートに、本時を振り返りめあてに沿って考えたことを
記述する。
S:自分でビー玉を動かす、平面のタイプのコロコロガーレにしよう。
S:家にあるゼリーのカップを落とし穴に使えそうだな。

指導のポイント

活動の見通しをもち、
めあてを設定する

どうしたら面白いビー玉の動きが
できそうか、イメージをたくさん
出し合わせ、自分の表したいこと
を明確にできるようにする。

様々な材料と触れ合わせ、自分
の感覚や行為を通して、発想を
ふくらませるようにする

様々な材料を、教師が意図的に用
意する。作りながら試すことで、動
きを表す言葉と実際の動作が結び
付き、表したいイメージとして蓄
積できるようにする。

グループで試しの活動をする

グループで試しの活動を設定する
ことで、他の児童や材料と対話し、
関わり合いながら、次々とアイデ
アが生み出される。協同作業の中
で出された面白い材料の組合せ方
や、面白い動きなどのアイデアは、
他の児童によさを具体的に紹介す
る。

表したいことを生み出せるよ
う、言葉や図などで表す言語活
動を設定する

作業に没頭した後は、考えたアイ
デアを可視化できるように、アイ
デアカードに言語化する。簡単な
図と言葉で表すよう、かき方を例
示する。

指導例：『コロコロガーレ～ビー玉大冒険～』（第4学年 第3時）

1 本時のめあてをつかむ。
前時に作成したアイデアカードを貼った模造紙や参考作品を見て、自分の表したいものを振り返る。

本時のめあて 材料や用具の使い方とコースのつくり方を知り、材料の組合せや用具の使い方を試しながら表そう

2 材料(紙やプラスチック、木片等)の使い方や、用具(はさみやカッターナイフ、のり等)の使い方を知る。
材料(紙やプラスチック、木片等)の扱い方(切り方、曲げ方、立ち上げ方等)用具(はさみ、段ボールカッター等)について教師の範例を見て理解する。

3 材料の組み合わせや用具の使い方を試しながらコースを製作する。
段差を生かすものと平面を転がすもののどちらを基本形としてつくるかを決める。
ある程度できたところで相互鑑賞をして発想のヒントにししたり、よさを認め合ったりする。

柱を立てて、コースとコースをつないでみよう。



T:あれ、入り口が増えたね!

S:たくさんスタートがあると、面白そうだったの。

それ、どうやったの?

切り込みを入れると、紙がきれいに曲がるんだよ。

なるほど、僕もやってみよう。



【相互鑑賞の様子】

4 本時のまとめ・振り返りをする。
自分の表したいことに合わせてコースづくりを始めることができたか、作業を始めてみて分からないことがなかったか考える。
振り返りカードに振り返りを記入するように促し、次時の製作の確認をする。

S:ボンドを着けた紙を立てた後、すぐに手を放さずに少し待ってから離すと、よくくっつくということが分かったよ。
S:今よりもっと長いコースにしたいから、使える材料を集めてこよう。

指導のポイント

アイデアカードを動き別に分類させ、掲示する

集めたアイデアカードは動き別に分類させて模造紙に貼り、授業中に掲示して製作中のヒントとして活用できるようにする。

主な材料と用具の使い方を指導する

基本的な用具の使い方や、材料に合わせた接着剤の選び方などを実演し、作業のイメージを明確にもたせ、安全に活動ができるようにする。

キット+ の材料コーナーで発想を広げる

自由な発想を促すために児童には市販のキットから説明書を抜いたものを配付する。その他に、自由に試すことができるように材料コーナーを設置しておき、身辺材を用意しておく。

児童の表したい思いを大切に、個別指導をする

活動中、机間支援をするなかで児童と対話をし、児童の表したいイメージを大切にしながらその都度必要な技術の指導や助言をする。

製作途中で相互鑑賞を設定する

ある程度できたところで相互鑑賞をして互いの発想のよさを認め合ったりアドバイスをし合ったりすることで、自分が表したいものに近づけていくことができるように声掛けをする。

図画工作科学習指導案

令和元年6月 第4学年 指導者 茂木 明美

題材名 コロコロガーレ ～ビー玉大冒険～

学習指導要領上の位置付け

A 表現

- (1) イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。
- (2) イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B 鑑賞

- (1) ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

[共通事項]

- (1) ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

目 標

ビー玉を転がして楽しく遊ぶ作品の製作を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、ビー玉を転がすコースの形や色の組合せによる感じが分かる。

紙などの身近材料と、はさみやのり、カッターなどの用具を適切に扱うとともに、紙や段ボールを切ったり接着したりした経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(知識及び技能)

イ ビー玉の面白い動きを基に、自分のイメージをもちながら、参考作品で遊んだ時に感じたこと、想像したことから表したいことを見付けたり、材料を生かしながらどのように表すかを考えたりする。(思考力、判断力、表現力等)

ウ ビー玉が楽しく転がるコースを進んで表現したり、自分たちの作品で遊びながらコースや形の面白さやいろいろな表し方のよさを味わったりする。

(学びに向かう力、人間性等)

指導計画 別紙参照

本時の展開 (1 / 10)

- ねらい 参考作品で遊びながら、ビー玉の面白い動きについてグループで話し合う活動を通して、ビー玉が楽しく転がるコロコロガーレの作品製作への意欲をもたせる。
- 展開

学習活動 (分)	: 留意点	点線囲 : 評価	: 振り返りの子供の意識
1	ビー玉の動きの面白さに気付く。(5分)		
<p>参考作品の一つを見せ、これからビー玉がコースをどのように動くか問い掛ける。</p> <p>ビー玉がすべり台を転がりながら跳ねる様子を見せる。</p> <p>本時では参考作品で遊びながら、ビー玉の動きの面白さをたくさん見付けることを全体で確認する。</p>			
2	複数用意した参考作品で遊びながら、ビー玉の面白い動きを見付け、グループ内で話し合う。(25分)		
<p>4、5人のグループに、一つの参考作品を用意する。</p> <p>遊ぶ中で見付けたビー玉の面白い動きをグループで1枚のワークシートに言葉や図でかくように促す。</p> <p>活動中の児童の様々な気づきを称賛し、他の児童に紹介する。</p> <p>ビー玉を転がして遊ぶ仕組みに興味をもち、ビー玉の動きの面白さを味わい、友達に伝えたり、参考作品を繰り返し操作したりしている。 <観察・発言(1)></p>			
3	個々が気付いたビー玉の動きの面白さを全体で共有する。(10分)		
<p>全体の場で共有する際には、児童の発言から出されたビー玉の面白い動きについて教師が板書をしながらまとめる。</p> <p>児童から出された面白い動きを受け止め、ビー玉を転がして楽しく遊ぶ、コロコロガーレづくりを提案する。</p>			
<p>題材の課題 ビー玉を転がして楽しく遊ぶ、コロコロガーレをつくろう。</p>			
4	本時のまとめ・振り返りをする。(5分)		
<p>振り返り用のワークシートに本時を振り返り分かったことや考えたことを記述するよう促す。</p> <p>板書を全員で振り返り、たくさんの面白さを見付けることができたことを共有する。</p> <p>ビー玉を転がすコースづくりって面白そうだな。自分もやってみたいな。自分だったら落とし穴をたくさんつくろうかな。</p> <p>何か使えそうなものを家でも探してみよう。</p>			

本時の展開 (3 / 10)

- 1 ねらい コースに表す活動を通して、紙や段ボール、プラスチックなど材料の扱い方や、段ボールカッターなど道具の使い方、ビー玉の転がるコースの基本的な構造について理解し、表したいものを表す際に生かしながら表すことができるようにする。
- 2 展開

学習活動 (分)	: 留意点	点線囲 : 評価	: 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5 分)</p> <p>前時に作成したアイデアカードを貼った模造紙や参考作品を見て、自分の表したいものを振り返るよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 材料や用具の使い方とコースのつくり方を知り、材料の組合せや用具の使い方を試しながら表そう。</p> </div>			
<p>2 材料(紙や段ボール、プラスチック、木片等)の使い方や、用具(はさみやカッターナイフ、のり等)の使い方を知る。(15分)</p> <p>材料(紙やプラスチック、木片など)の使い方(切り方、曲げ方、立ち上げ方など)、用具(はさみ、段ボールカッターなど)の使い方について範例を示す。</p> <p>接着方法(ボンド、のり、セロテープなど)を実演する。</p> <p>基本的なコースの作り方を紹介する。基本的なコースとは以下のようにする。</p> <p style="text-align: center;">コの字型 V字型 壁の立て方 斜面の支え方 柱の作り方 カーブ型</p>			
<p>3 材料の組合せや用具の使い方を試しながらコースを製作する。(20分)</p> <p>段差を生かすものと平面を転がすもののどちらを基本形としてつくるかを問い掛ける。</p> <p>つくりたいものに迷ったら、前時の模造紙や参考作品を見るよう促す。</p> <p>自由に試すことができるように材料コーナーを設置しておき、紙を種類別に分けたものや、身辺材を用意する。</p> <p>活動中、机間巡視をする中で児童と対話をし、児童の表したいイメージを大切にしながら、その都度必要な技術の指導や助言をする。</p> <p>材料の組合せや仕掛けを工夫した児童のよさを随時紹介・称賛する。</p> <p>ある程度できたところで相互鑑賞をして発想のヒントにしたり、よさを認め合ったりできるように声掛けをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ビー玉の転がる仕組みを使った楽しい転がり方や仕掛けに合った材料を考え、扱い方を工夫して表している。</p> <p style="text-align: right;">< 観察、作品(3) ></p> </div>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(5 分)</p> <p>自分の表したいことに合わせてコース作りを始めることができたか、作業を始めてみて分からないことがなかったか問い掛ける。</p> <p>振り返りカードに振り返りを記入するように促し、次時の製作の確認をする。</p> <p>ボンドを塗った紙を立てた後、すぐに手を放さずに少し待ってから離すと、よくくっつくということが分かったよ。</p> <p>今よりももっと長いコースにしたいから、使える材料を集めてこよう。</p>			

<p>目標</p>	<p>ビー玉を転がして楽しく遊ぶ作品の製作を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 自分の感覚や行為を通して、ビー玉を転がすコースの形や色の組合せによる感じが分かる。紙などの身近材料と、はさみやのり、カッターなどの用具を適切に扱うとともに、紙や段ボールを切ったり接着したりした経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(知識及び技能)</p> <p>イ ビー玉の面白い動きを基に、自分のイメージをもちながら、参考作品で遊んだ時に感じたこと、想像したことから表したいことを見付けたり、材料を生かしながらどのように表すかを考えたりする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ ビー玉が楽しく転がるコースを進んで表現したり、自分たちの作品で遊びながらコースや形の面白さやいろいろな表し方のよさを味わったりする。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1)ビー玉を転がして遊ぶ仕掛けに興味をもち、楽しい仕掛けをつくることや相互鑑賞に進んで取り組んでいる。</p> <p>(2)ビー玉の楽しい転がり方やいろいろな仕掛けを思いつき、全体のコースの形や飾りを考えている。</p> <p>(3)ビー玉の転がる仕組みを使った楽しい転がり方や仕掛けに合った材料や用具の扱い方を工夫して表している。</p> <p>(4)作品を交換して遊び、作品のよさや面白さ、工夫した点などを感じたり、互いに伝え合ったりしている。</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>ねらい めあて</p>	<p>振り返り(意識)</p>	<p>評価項目 <方法(観点)></p>
<p>出会う</p>	<p>1</p> <p>参考作品で遊びながら、ビー玉の面白い動きについてグループで話し合う活動を通して、ビー玉が楽しく転がるコロコロガレの作品製作への意欲をもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>題材の課題 ビー玉を転がして楽しく遊ぶ、コロコロガレをつくろう。</p> </div>	<p>ビー玉を転がすコースづくりって面白そうだな。自分もやってみたいな。自分だったら、コースの中に落とし穴をたくさんつくろうかな。何か使えそうなものを家でも探してみよう。</p>	<p>ビー玉を転がして遊ぶ仕組みに興味をもち、ビー玉の動きの面白さを味わい、友達に伝えたり、参考作品を繰り返し操作したりしている。</p> <p><観察・発言(1)></p>
<p>試す・広げる</p>	<p>1</p> <p>前時に出されたビー玉の面白い動きを振り返り、用意された材料でどうしたらその動きができそうかをグループで試しながら考え、アイデアカードに絵や言葉で表すことを通してアイデアを広げ、自分の表したいことを表現できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のめあて どうしたら面白いビー玉の動きができそうかを考え、アイデアを広げよう。</p> </div>	<p>段ボールをはがして使うと、でこぼこ道ができそうだな。階段を落ちていくみたいな動きにしたい。自分でビー玉を動かす、平面のタイプのコロコロガレにしよう。</p>	<p>ビー玉を転がして遊ぶために取り入れたい動きを考え、言葉や図でアイデアカードにかいている。</p> <p><アイデアカード(2)></p>
<p>表す</p>	<p>2</p> <p>コースに表す活動を通して、紙や段ボール、プラスチックなど材料の扱い方や、段ボールカッターなど道具の使い方、ビー玉の転がるコースの基本的な構造について理解し、表したいものを表す際に生かしながら表すことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のめあて 材料や用具の使い方とコースの作り方を知り、材料の組合せや用具の使い方を試しながら表そう。</p> </div>	<p>カーブのコースを作るには、紙に切り込みを入れるときれいに曲がるんだな。のりしろをつくと紙を立ち上げることができるんだな。ボンドを塗った紙を立てた後、すぐに手を放さず少し待ってから離すと、よくくっつくということが分かったよ。</p>	<p>ビー玉の転がる仕組みを使った楽しい転がり方や仕掛けに合った材料を考え、扱い方を工夫して表している。</p> <p><観察、作品(3)></p>
	<p>2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時のめあて 材料や仕掛けの組合せの仕方を考えて、ビー玉の転がる楽しいコースをつくろう。</p> </div> <p>様々な材料に触れ、自由に組合せを試しながら製作することを通して、自分の表現意図に沿ったよりよい表し方を見付けることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キットから説明書を抜いたものと、児童が個々に用意した材料の他に、材料コーナーを設置しておく。 <p>ビー玉を転がして試しながらコースや飾りについて考えることを通して、自分の表したいも</p>	<p>プチプチのシートをコースに敷いておくと面白そうだからくっつけてみよう。ビー玉がくるくる回るところにペットボトルが使えるそうだな。今よりももっと長いコースにしたいから、紙を継ぎ足してみよう。うまく転がらないな。コースの幅を広げてみよう。カラーセロハンを付け</p>	<p>楽しい転がり方や、いろいろな仕掛けを思いつき、全体の飾りや形を考え作品に表している。</p> <p><観察、作品(2)></p> <p>ビー玉の転がる仕組みを使った楽しい転がり方や仕掛けに合った材料を考え、扱い方を工夫して表している。</p> <p><観察、作品(3)></p>

		<p>のを明確にして製作できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品や壁面に貼ってあるカードをいつでも見ることができるようにしておき、アイデアを確認しながら製作できるようにする。 	<p>て、海の中を表現しよう。</p>	
	1	<p>製作途中に相互鑑賞をすることを通して、互いのよさを伝え合い、工夫しているところや面白い仕掛けに気づき、自分の作品に生かすことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて お互いの作品の中間発表会をして、さらに楽しい作品になるように意見を交換しよう。</p> </div>	<p>スタートを二個にしてみたよ。 落とし穴があるのが面白いね。ぼくの作品のコースとくっ付けたら面白そう。 道にギザギザを付けるとゆっくり転がるよ。</p>	<p>作品を交換して遊び、作品の面白さや工夫した点、アドバイスなどを互いに伝え合っている。</p> <p><観察、発言(4)></p>
	2	<p>コースの意図や仕掛けについて作りながら考え、コースを継ぎ足したり装飾をしたりすることを通して、自分の表現意図に沿って仕上げることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて 表したいことを確認しながら、楽しい作品を仕上げよう。</p> </div>	<p>前回の友達のアドバイスを取り入れてみよう。 もっとスピードが出るようなコースにしたいから、コースの角度を急にしよう。</p>	<p>表したいことに合うように全体の飾りや形を考え作品に表している。</p> <p><観察、作品(2)></p>
振り返る	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて コロコロガーレの鑑賞会をしよう。</p> </div> <p>完成した作品を交換しながら遊び合い、よいところを伝え合う活動を通して、互いの作品のよさを味わえるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作した感想をワークシートに記入し、コロコロガーレの製作を通して分かったことやできたことを共有することで、達成感を味わえるようにする。 	<p>同じ階段の仕組みでも、付ける位置によって変わるね。 紙に切り込みを入れると、立体的になることが分かったよ。 いろいろな材料を組み合わせると面白いわ。 みんなでアイデアを広げることができたよ。</p>	<p>作品を交換して遊び、作品のよさや面白さ、工夫した点などを感じたり、互いに伝え合ったりしている。</p> <p><観察・鑑賞ワークシート(4)></p>